～第2回横越町小学生海外研修報告～
（2回シリーズ・その2）

印象に強く残ったこと ベスト6

①中国の家庭を訪問したこと
②万里の長城に登ったこと
③上海雑技団を見たこと
④ハルビン児童公園での交流会
⑤中国での買い物
⑥児童発展センターでの交流会

学んだこと、気付いたこと

五年　田中　優香

私が中国の海外研修に行きたかったわけは、環境、人口など、日本と中国とのちがいを学びたいと思ったからです。

その日まで、中国がどんなところか分かりませんでした。

いよいよ中国へ行く日がやってきました。飛行機に乗るのも、外国へ行くのも初めてだったので、とてもワクワク、ドキドキと興奮していました。

中国に着きました。暑さは、日本みたいにむし暑くなく、ただ暑いという感じでした。

町には人が多く、自転車・バイクなどが多かったです。車は、日本とちがってものすごいスピードで走るので、ビックリしました。

環境は、建物をこわしたり、道路で火をたいたりしていたので、空気とかが、あまり良くなかったです。どちらかと言うと、あまり環境は良くないのかなと思いました。

家庭訪問で、なかなか言葉の通じないのは、とても大変なんだなあと思いました。

買い物は、日本ではまけてくれたりしないけど、中国では、子供だからなのか、やすくまけてくれました。私は、（中国は、安くしてもらいながら買うんだなあ）と思い、ちょっとしたことを学びました。

ホテルでは、私は、（どういうホテルなのかなあ。豪華じゃないんだろうなあ）などと思っていました。ホテルに着くと、すごくきれいなホテルでした。部屋の中は、フルーツなどが置いてあって、すごいなあと思いました。電気がつかなくてこわかったりしたこともあったけど、自分の家をはなれ、別の国で泊まるなんてすごいことだなあと思いました。

私は、中国の海外研修に参加してとてもよかったなあと思っています。中国では、いろんな人と遊んだり、困ったり、助け合ったり、楽しんだりといろいろありました。

五泊六日だったけど、中国でいろんなことを学んで、勉強になったと思います。

これからも、他の外国に行くときには、今回の研修で学んだことを活かしていきたいなあと思います。いろいろあった海外研修だったけど、とっても勉強になったと思います。今後も、また中国へ行けたらいいなあと思っています。

驚いたこと、感心したこと

五年　渡辺　千春

私は、中国に行って、驚いたことや感心したことがたくさんありました。

ハルビン児童公園での交流会では、中国の子供たちが手をつないで会場まで連れていってくれました。

この児童公園では、キップを切るのも、電車の運転をするのも、アナウンスも全部子供たちがやっていて、「すごいな…」と思いました。

そして、おどりや演奏をしてくれました。私たちも、リコーダーで日本の曲を演奏しました。おどりもおどりました。

交流会では、言葉は分からないけど、手足の動きで、どんなことを言っているのかが何となく分かりました。その後、プレゼント交換がありました。いっぱいもらったので、山になりました。そして、こちらからも中国の子供たちにプレゼントをあげました。

中国の子供は日本の子供たちより、はずかしがらずにハキハキしていると思いました。

三日目には、北京に行き、万里の長城に登りました。万里の長城は、敵から国を守るために作ったということです。私は、麻里子さんと歩きました。暑くて、何回も水を飲んだり、休んだりして登りました。途中、写真もいっぱいとりました。

一番うれしかったのが、頂上についた時です。麻里子さんと「やったね」と何回も声を上げました。今まで登ってきた道が見えて、とてもきれいでした。中国が広いということが分かりました。つかれたけど本当に楽しかったです。

研修最後の夜は、上海で雑技団を見ました。子供が、棒わたりや、空中で何回もジャンプしたりして、「凄いなあ」と思いました。私は何枚も写真をとってしまいました。

私は、中国へ行って本当によかったです。日本では見ることもできないことをいっぱい見たり経験したりしました。

でも、上海を出るとき、日本に帰れると思い、うれしくなりました。やっぱり、日本語が通じるところが安心します。家に帰ってきて、ほっとしました。中国に連れていってもらいありがとうございました。このことは、ずーと忘れません。

行って、見て、食べて、感じた中国の印象！鋭い感性でとらえた感想文！

心と心をむすぶ虹の橋　Part2

楽しかった中国

六年　本間　麻未

今日は、一か月も前から待っていたほど、楽しみにしていた日、中国海外研修出発の日なのです。心の中は、ハラハラ、ドキドキで空港に向かいました。

私は、飛行機二回目なんだけど、小さい頃乗ったので、こわかったのか、おもしろかったのかよく覚えていません。だから、今日は、心臓が爆発しそうなほど心配。

飛び立つとき、ジェットコースターに乗っているような気分！　私は、窓際にすわれなかったけど、となりの彩美さんから、ときどき外を覗かせてもらっていました。

とうとう中国到着だあ……。

一日目は、ハルビンです。日本とちがって蒸し暑くないから、あまり暑いとは思いませんでした。それから児童公園に行って、中国の子供たちと初めて会いました。みんなおでこを出して、ピンをつけたり、リボンをつけたりといろんな髪型をしていました。例えば、ポニーテール、ショートカット、おだんご結びなどでした。洋服もみんな同じ服を着ているのにはビックリ！　小学生でも制服があるのだろうか。日本人とあまり変わらないけど、どこかちがう！　雰囲気がちがうよう。

私たちは、はずかしがっているのに、中国の子供たちは、ぜんぜんはずかしがらないで、手をつないで、会場に連れていってくれました。言葉は通じないけれど、態度で表してくれるので分かりました。

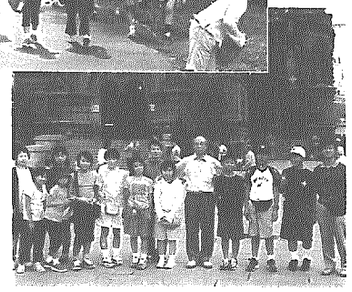
中国の友達と手をつなげてうれしくなりました。私もはずかしがらないようにしようと思いました。会場の中に入り、お互い練習した出し物を見せたりしました。

中国の子供たちは、まんざい、おどり、楽器の演奏などを見せてくれました。チャイナの服を着てとってもきれいでした。まんざいは、意味がよく分からなかったけど、何となくふんいきで分かるような気がしました。でも、中国語が分かれば、もっとおもしろいのになあと思いました。

私たちは、ミニハーモニカ、ダンス、剣道、柔道などを演技しました。皆がんばったし、楽しくできたので大成功。最後に、プレゼントを渡したり、もらったりしました。

中国へ行って思ったことは、言葉が通じなくても、心さえあれば分かりあえると思いました。

大きくなったら、また行きたいなあ。



万里の長城に登る

六年　佐藤　孝幸

僕は、海外研修に参加してよかったと思います。なぜかと言うと、大勢の人に出会い、そして、たくさんの観光地を見学できたからです。

中国第一日目には、ハルビン市の教育委員会を全員で訪問しました。立派な部屋に案内され、一人一人、中国語で自分の名前を名乗りました。少しつかえたけれど、最後まで言うことができ、ホッとしました。三十分くらい話し合って、お別れするときに、向こうの教育長さんから一人一人プレゼントをいただきました。

午後は、ハルビン市立中山路小学校というところを訪ねました。夏休みで、子供の姿は見えませんでしたが、先生方が僕たちを迎えてくれました。校長室に案内されて、いろいろ話し合いました。女の人が校長先生で、びっくりしました。スイカや桃をごちそうになりました。ここで、家庭訪問する家の人に紹介され、そこの人の車にのって、みんなと別れました。

夜は、ホテルでみんなの部屋を訪問したりして、にぎやかにすごしました。あまりさわぎ過ぎて、他のお客様に迷惑をかけたようで、反省しました。

八月一日。待ちに待った「万里の長城」に登る日がやってきました。

あいにくのロープウェーが故障していたので、歩いて登ることになりました。上田先生が、四つ目の望楼を目指して、上り始めたので、僕も、その後に続いて上りました。やがて急な坂にさしかかりました。その坂道で、五年生の女子がこわそうに悲鳴を上げていたので、僕のペットボトルにつかまるように、差し出してやりました。そしたら、その女子は、女子の中で一番はやく、頂上に着きました。

頂上からの眺めは雄大でした。どこまでも、石垣が続いていました。すごい眺めでした。中国は広いと思いました。

頂上付近は、風もあって、あまり暑さを感じませんでした。

下るときも、その五年生の女子と一緒にペットボトルをつかまらせて、そのペースで降りました。そしたら、やっぱり一番に集合場所に着きました。

とても素晴らしい、万里の長城でした。よい思い出ができました。